

平成31年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）
小論文（中等教育教員養成課程・音楽専攻）出題の意図

平成29年3月の学習指導要領改訂に伴い、今後、その趣旨に沿った学習指導が実施される中で、音楽科において求められている課題の一つである「生活や社会の中の音楽と豊かに関わる資質・能力の育成」の指導の在り方について、教育現場の実態、現代の教育改革や社会の状況等を踏まえて論述することを求めたものである。

平成31年度入学試験問題（推薦入試）
小論文（中等教育教員養成課程 美術専攻）出題の意図

新しい中学校学習指導要領（平成29年告示）美術科では、生徒が自然の造形を自分の目や手で直接捉え、よさや美しさなどを主体的に感じ取っていくことの大切さが示されている。

そこで、受験者自身が、自然の造形の造型的なよさや美しさを①どのような体験から、どのように感じとっているかを問い、また、その体験を②今後どのように自分の造形表現に生かしていくかを問うた。

①、②それぞれ、また論述全体としての、表現内容の豊かさと、文章の確かさを評価の観点とした。

平成 31 年度入学試験問題（推薦入試）
小論文（中等教育教員養成課程保健体育専攻）
出題の意図及び評価の観点

(1) 出題の意図

中等教育教員養成課程保健体育専攻の入学者は、保健体育に関する専門的な知識や実践力を身につけていることが求められている。それらの専門的な知識や実践力は、本学入学後、あるいは教職に就いてから、保健体育の授業や課外活動などの教育現場で役立てられ、保健体育教師としてさまざまな課題に直面した際に、それらの課題を解決する上でも必要な資質や能力であると考えられる。

(2) 評価の観点

スポーツには、クローズドスキル型の技術とオープンスキル型の技術があることを理解し、これらの2つの技術についてそれぞれ説明することができる。

今まで自分が行ってきた専門種目または授業で行ってきた運動を例にあげながら、技術を身につけるためにどのような練習の工夫が必要なのかについて、自分の考えを論述することができる。

平成31年度 入学試験問題（推薦入試）
小論文（中等教育教員養成課程 家庭専攻）出題の意図

（問1）

「待機児童」について、100字以内での確かな説明ができるかどうかを問う。

（問2）

「待機児童」が増加する要因について、女性の社会進出、核家族化、地域共同体の弱体化、人口の都市への集中などから3つの視点を立て（思考力）、自分の考えを800字以内で論理的に説明できるか（表現力）を問う。

平成三十一年度入学試験問題（推薦入試）
小論文（中等教育教員養成課程書道専攻）出題の意図

〔一〕高等学校芸術科書道の学習の基盤となる鑑賞能力があるか。また、三蹟が活躍した平安時代中期の書について、理解ができているか。

具体的には、

○二つの図版「玉泉帖」「離洛帖」の直感的鑑賞、分析的鑑賞ができていか。また、「玉泉帖」「離洛帖」の書の美を相互に関連づけているか。

○「平安時代中期」「国風文化」というキーワードを用い、筆者名や時代的特性などが述べられているか。

〔二〕「書道Ⅰ」における、漢字仮名交じり書の構想を文章で表現することができるか。

具体的には、

○一年間のまとめとした、漢字仮名交じり書の構想が表現できているか。また、日常生活に生かすことができる書として、目的を含め、創作における基本的な構想を述べているか。

○その際の観点として、次の六点の記述が適切かどうか。

- ① 感覚的なイメージ
- ② 書式・様式・形式等
- ③ 書体、書風、用筆法・運筆法、参考にする古典等
- ④ 言葉等の題材
- ⑤ 全体構成
- ⑥ 用具・用材